■ MICカード ／患者本人が自身の医療情報を管理するPHR

■ 株式会社ミックインターナショナルが開発したカード型USBメモリーMICカードは、自身の医療情報をUSBメモリーに格納して患者個人が携帯できます。

■ “自分の命は自分で守る”という信念のもと、患者個人が自身の医療・健康情報を管理することは、自身の医療リスクの低下させ、ひいては社会全体の医療リスクの低減につながります。

1. 他の病院と患者の医療情報を共有できます。自身の医療情報が格納されたMICカードを患者本人が他の病院に持参することによって、他の病院で当該患者に対して行われた検査結果、処方、処置等の医療情報を閲覧でき、重複検査を防ぎ、診断の正確性を高めることができます。

2. 救急搬送時に効果を発揮します。容体が悪く、救急隊の隊員の質問に答えることができない場合でも、タブレットなどの汎用端末に接続することによって、かかりつけの病院やアレルギー・禁忌等の内部に格納された患者個人の医療情報を閲覧でき、救急搬送時の速やかな対応を支援します。

3. 災害時に効果を発揮します。地震等で通信ネットワークが遮断された場合でも、パソコンなどの汎用端末に接続し、認証コードを入力するだけで、常備薬等の内部に格納された患者個人の医療情報を閲覧でき、 災害時の速やかな対応を支援します。

■ MICカード の使い方

MICカードのフラッシュメモリ部をパソコン等に接続し、「MicWin.exe」をクリックして下さい。すると、アプリ「MicWin.exe」が起動しますので、患者から聞いたパスワードを入力して下さい。

※なお、MICカードは、Apple社のOSには、対応しておりません。

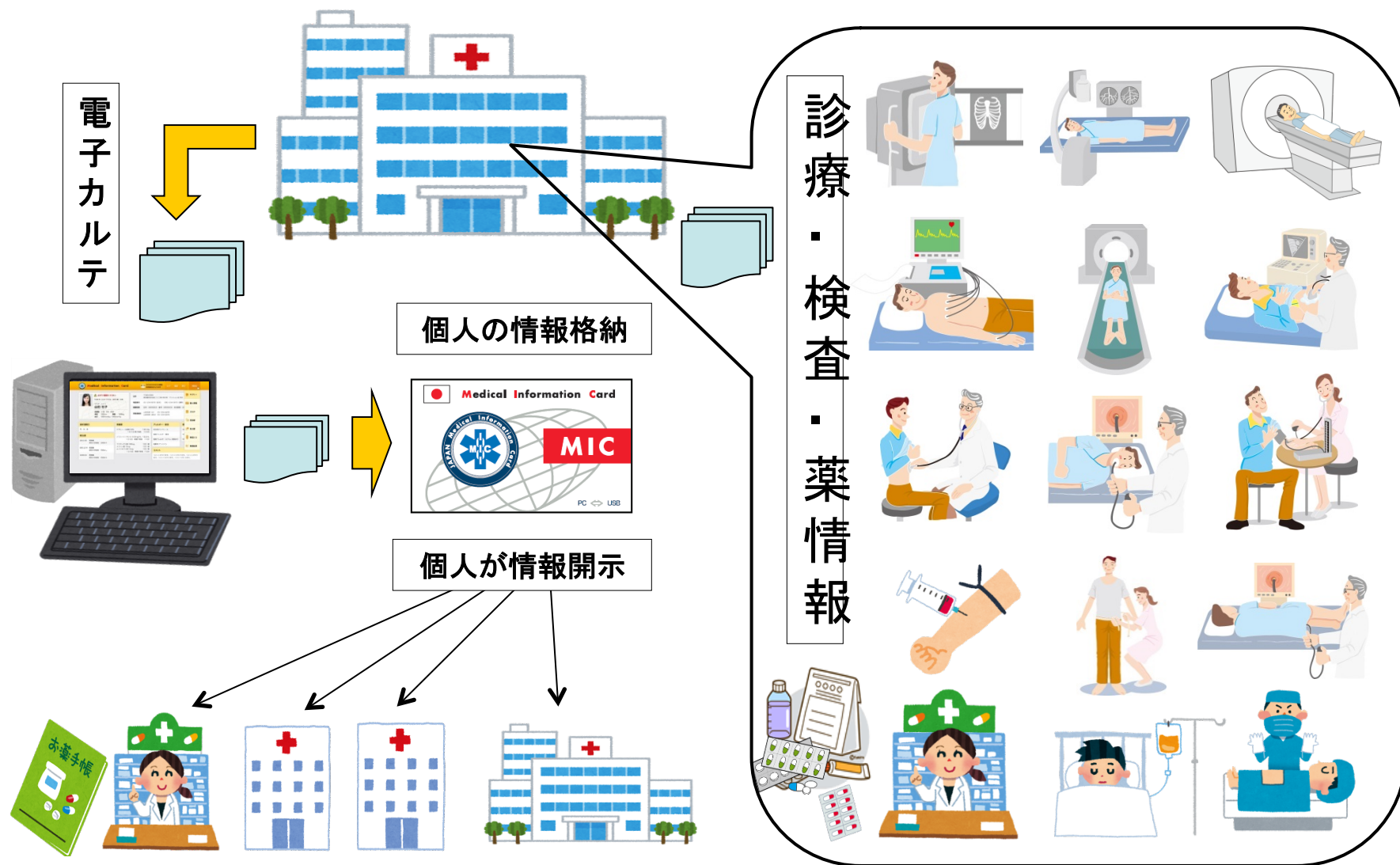
＜広島県HMネットVer.＞

＜広島県HMネットVer.＞

■ HMネットカード の取扱説明書のインターネットからのアクセス方法

MICカードのフラッシュメモリ部をご自宅のパソコン等に接続し、「MicWin.exe」をクリックして下さい。すると、アプリ「MicWin.exe」が起動しますので、パスワードを入力して下さい。

※MICカードの詳しい使い方につきましては、取扱説明書をご参照下さい。
※なお、MICカードは、Apple社のOSには、対応しておりません。

■ MICカード の格納情報と利用方法

患者の医療情報を閲覧することができます。

・従って、例えば、他の医療機関で行われた検査結果、処方されたお薬等について確認することができます。

■ MICカード のセキュリティの仕組み

◆SS-MIX対応病院

MICカードは患者の医療情報を取り扱うため、高度なセキュリティを備えている。

①データが暗号化されて格納されているので、外部から不正に復号化・閲覧・コピーはできない。

②識別コードとパスワードで不正アクセスを防止する。

③3回以上パスワード入力を間違うと、格納されているデータをロックする。

◆ SS-MIX対応病院（47都道府県）

■ カード裏面サンプル

「命のミックカード®」のご利用について

- このカードは株式会社 ミックインターナショナルの契約医療機関が提供するカードです。
- このカードは、体調不良若しくは緊急時の際に、個人の医療情報を医師や救急救命士（救急隊）等に情報提供するためのカードであり、USB メモリー内蔵カードです。
- このカードは内蔵されている USB メモリーが、折れたり曲がったりすると、使用できなくなります。
- このカードは、通帳や印鑑と同じように大切にお取り扱い下さい。
- パスワードは、他人に教えたり、知られないようにしてください。

MIC INTERNATIONAL 株式会社 ミックインターナショナル

お問い合わせは フリーダイアル 0120-3192-99（ミックに 救急）

◆USB対応型タブレット

マイナンバー導入の場合（カード内に登録）

[自治体番号＋市長村コード＋西暦＋ID番号]

43000—5—43531—2013—0000000

■ MICカード のユーザ別閲覧と制限

◆SS-MIX対応病院

各ユーザーは、それぞれ別のログインコード発行される。
このログインコードにより、それぞれのユーザーにとって必要な情報のみが閲覧できる。

◆イメージ画像

◆USB対応型タブレット（イメージ画像）

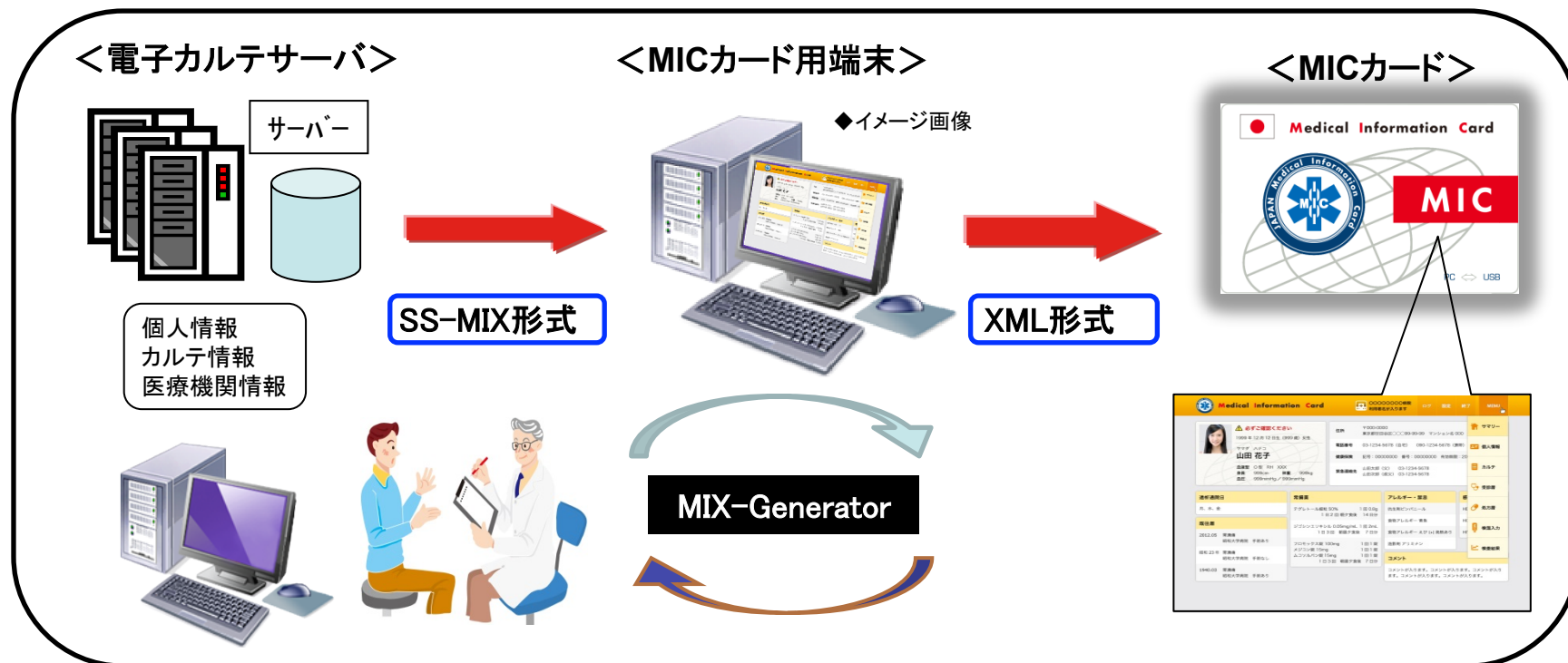
■ MICカード の使用方法

基本的な使い方は、USBメモリを各端末に接続し、アイコンをクリックしてユーザーコードを入力して頂ければカードに格納されているアプリケーションソフト「MIC EXE 」がコードを認識して自動で起動します。

■ 標準仕様の2GBのUSBメモリの場合、カルテ1000枚分、50 医療機関の情報を格納して閲覧できる。
■ 画像ファイルやPDFファイルのビューワを使用してDICOM画像や紹介状、返事等を格納して閲覧できる。
※但し、機能追加はオプションにて別途費用。

◆MICカードは、SS-MIX 情報提供の対応をしている全国の病院で個人情報の発行申請書（承諾書のサイン）を提出すると購入して頂けます。
◆MICカードは、パソコン、PCパソコン、タブレット（USB 付）で個人の暗証番号を入力するとサマリー画面の医療参照情報がご覧になれます。

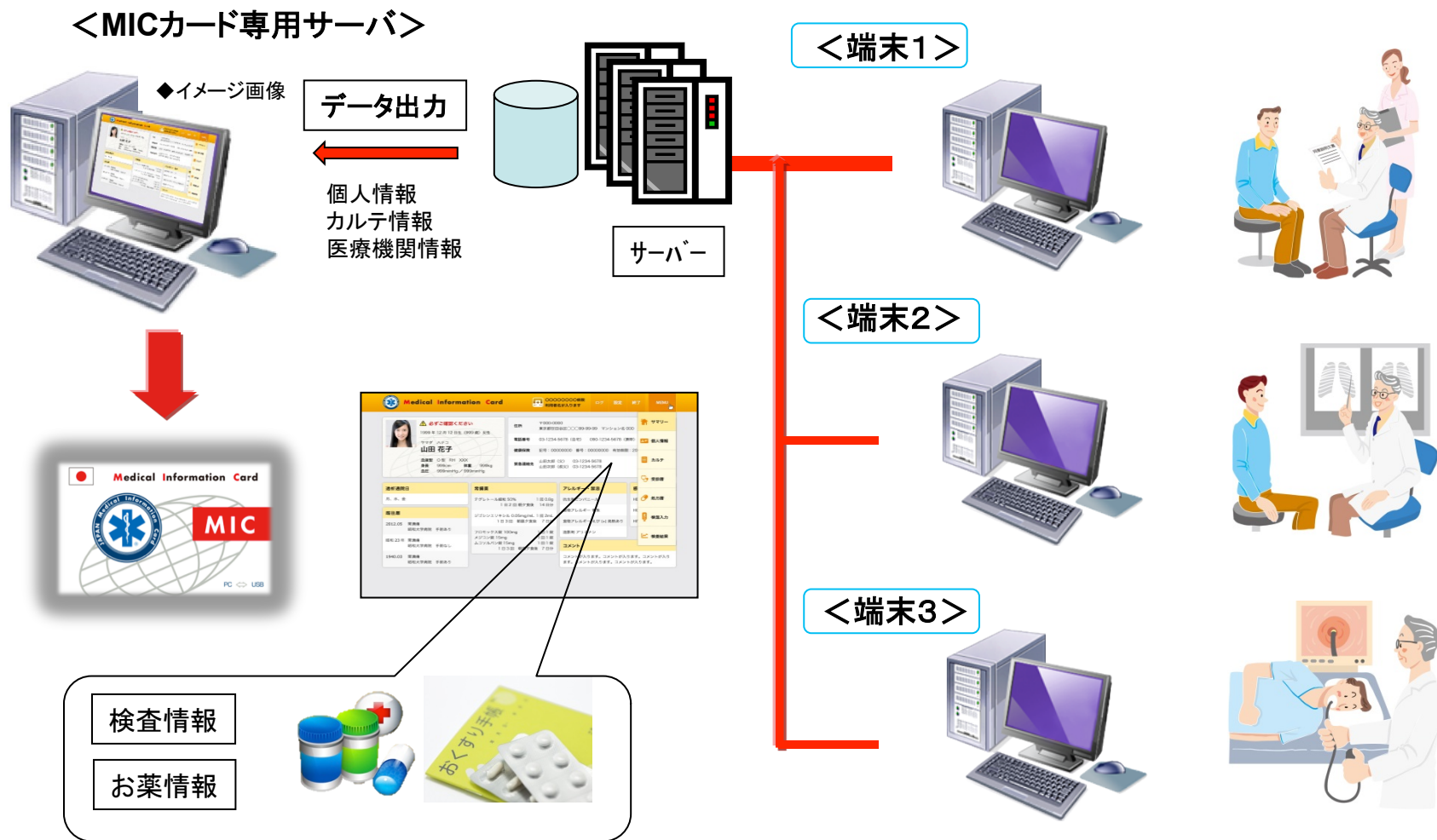
■ MICカード の展開例(病院)①－１　◆SS-MIX対応

アプリ「MIX-Generator」により、病院の電子カルテサーバに保存されている各患者の医療情報をMICカードに取り込む。

・簡単な操作（診察券番号を入力し、クリックするだけ）で、USBメモリへの取り込みが完了する。

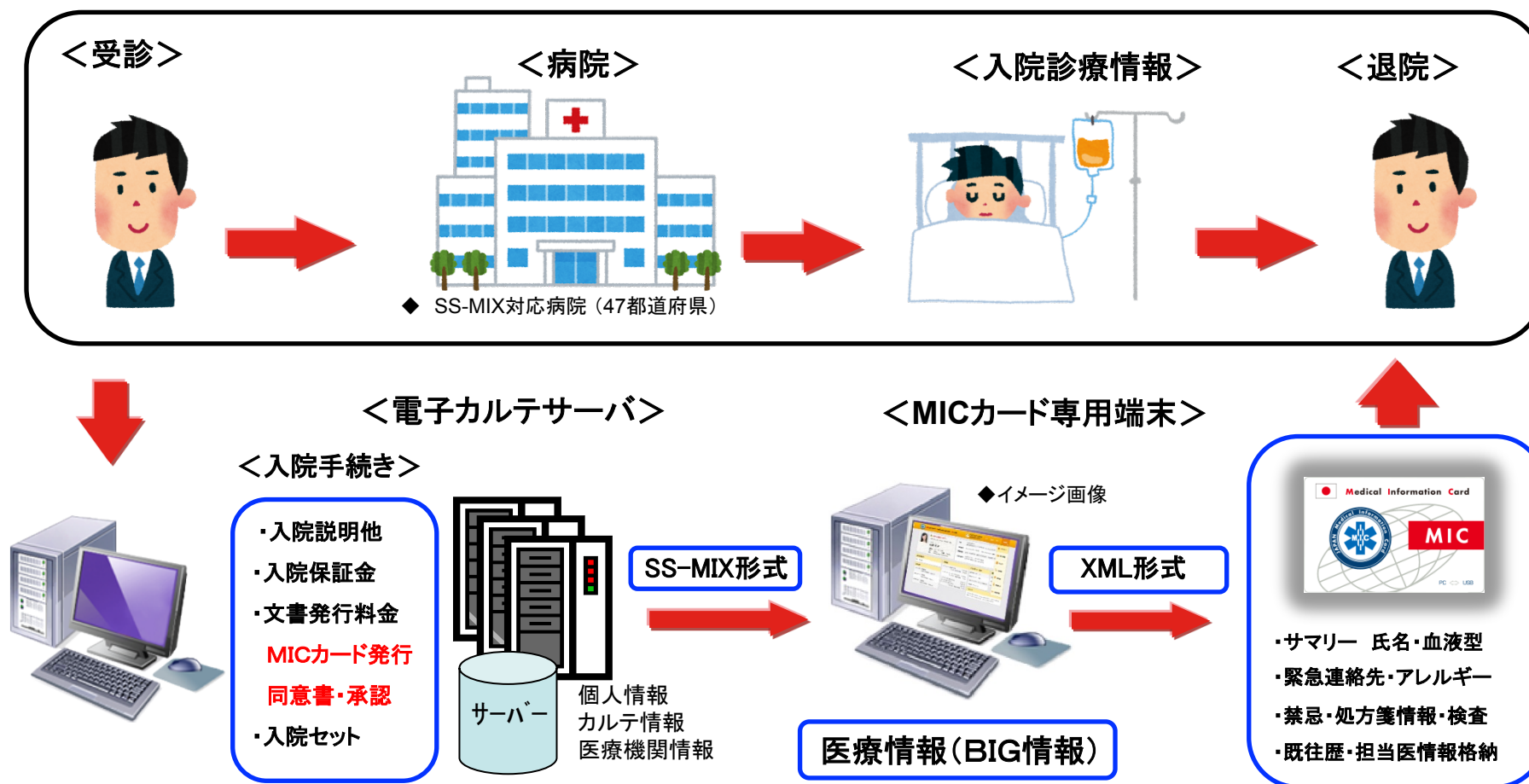
・SS-MIX形式で出力できれば、どのメーカの電子カルテシステムでも対応可能。

※電子カルテサーバから、SS-MIX形式でファイルを出力させるため、「SS-MIXファイル用のストレージサーバ」の設置が別途必要となる場合があります。

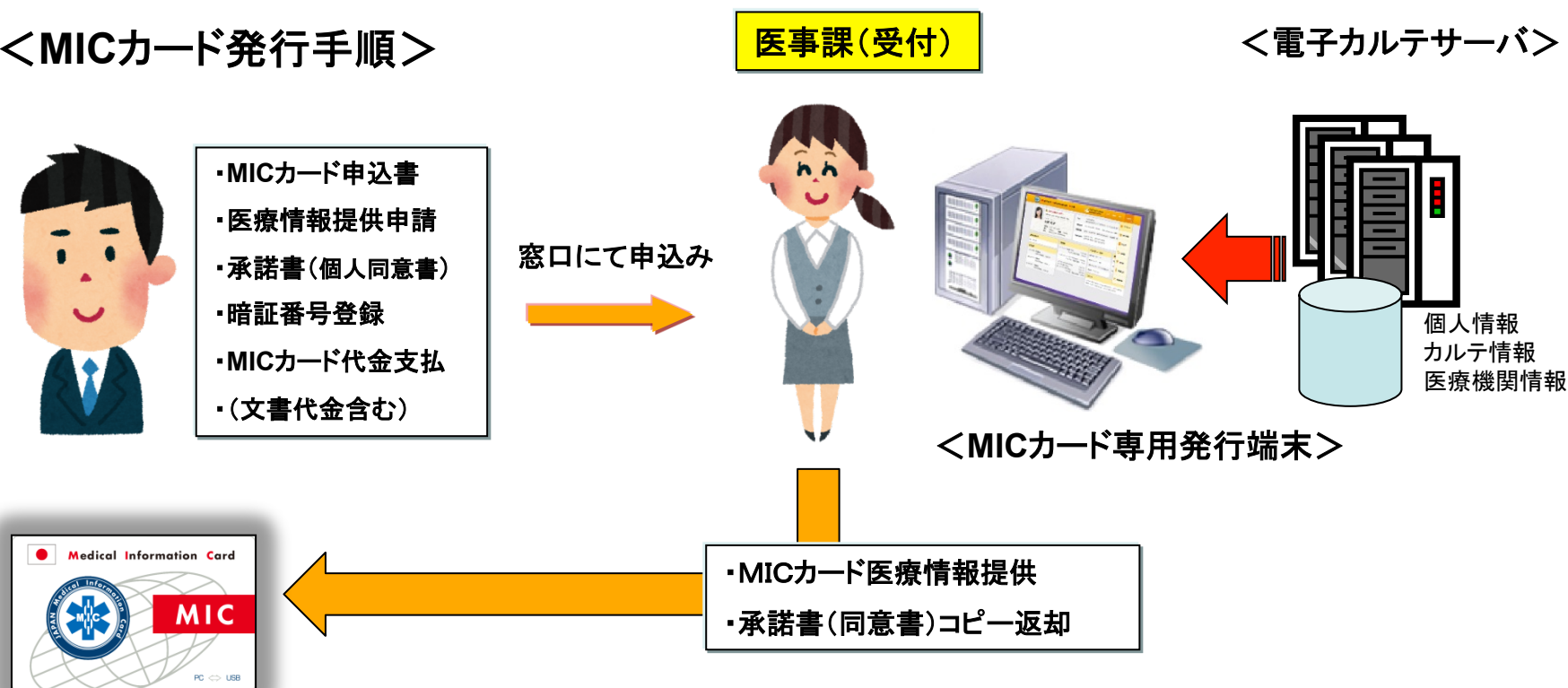
■ MICカード の展開例（病院）①－２

・MICカード専用（オプション機能）のサーバを病院内に設置することによって、病院内に設置されている他の端末からも、各MICカードに格納された患者の医療情報を閲覧できる。

■ MICカード の展開例（病院）①－３

1．病院においてMICカードを発行するケース

MICカード発行可能な病院が、患者自身の医療情報（本人承諾同意のもと）を退院時に発行する
格納情報は、緊急時に必要な氏名・血液型・アレルギー・処方箋・検査結果・手術歴・既往歴など
の個人情報を、救急隊などのタブレット端末などで閲覧可能により応急対応が可能になる。

■ MICカードの提供方法

①入院中の治療・手術・検査・投薬等の医療情報を退院時にMICカードに格納して患者個人の医療情報を有償にて提供する場合。

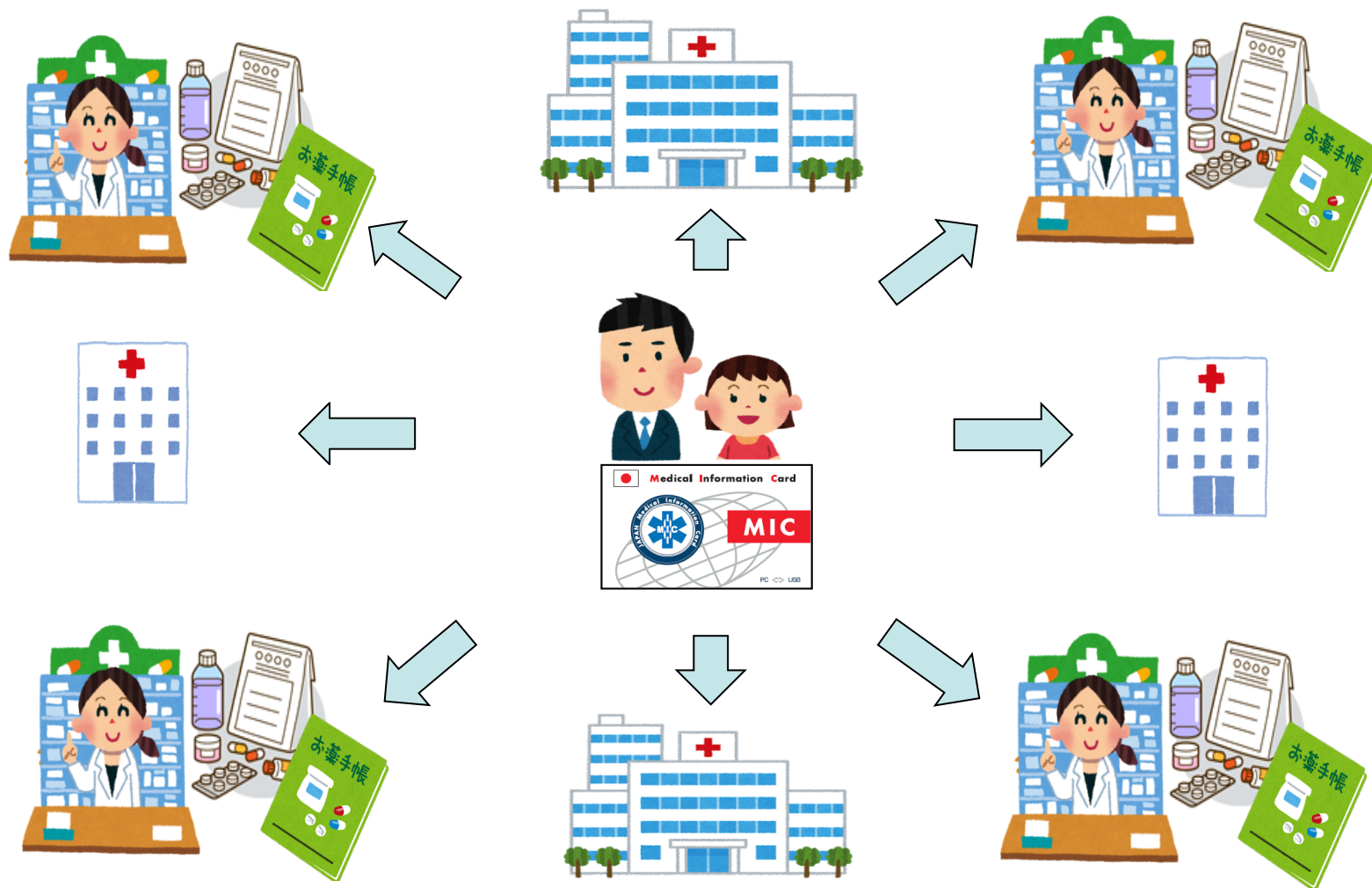
②健康診断の結果をMICカードに格納して、受診者個人の医療情報を有償にて提供する場合。

MICカード専用端末から患者コードにて医療情報を呼び出しMICカードに書き込み、医事課窓口にて発行する。

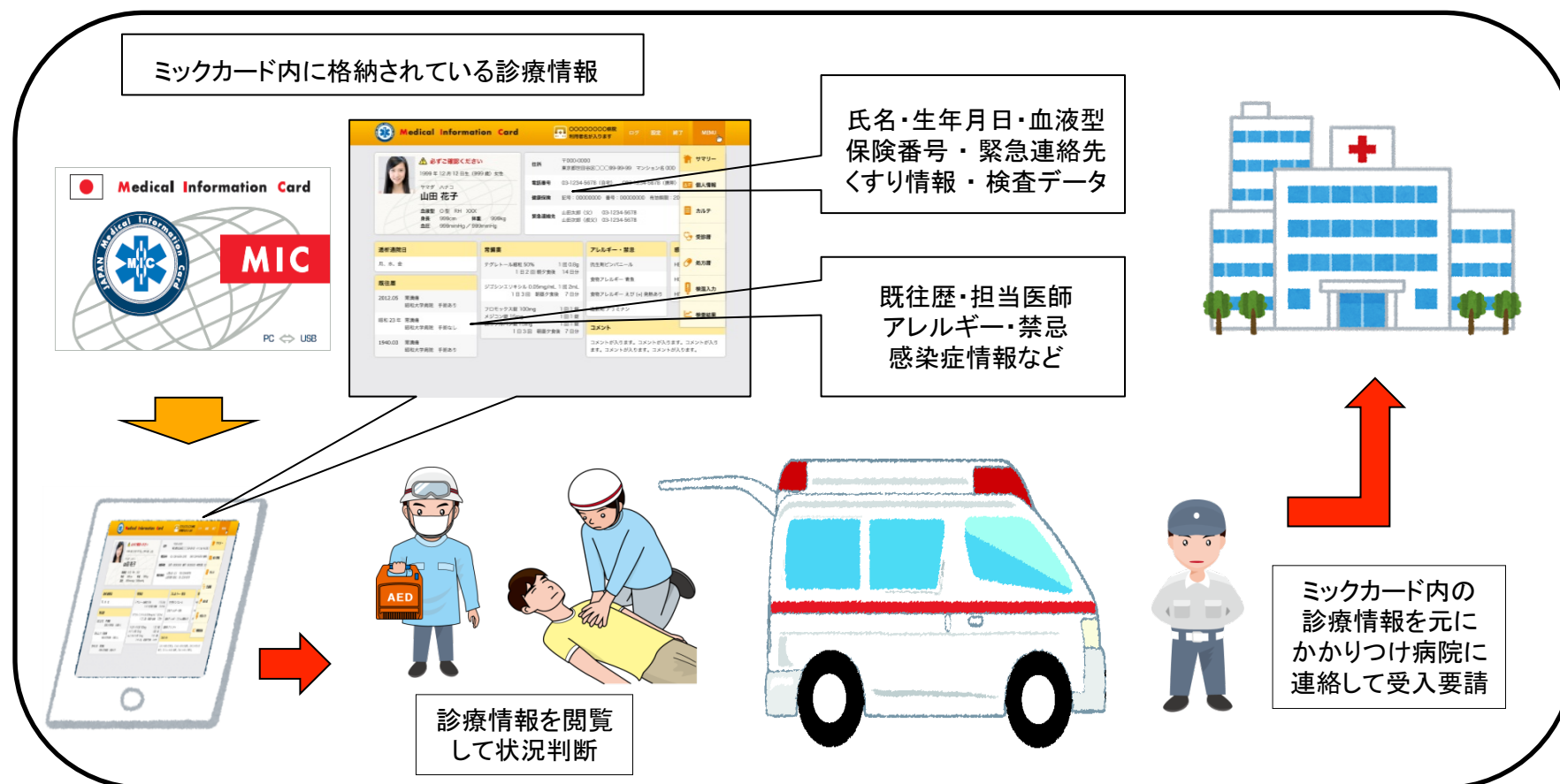
■ MICカード の今後の展開例（近隣の病院・クリニック・薬局）②

■ 患者がMICカードを持参して、医師に提示することにより、自らの意思で自身の医療情報を開示することができる。

・パソコン等の端末を用いて、MICカード内に格納された患者の医療情報を閲覧することができ、不要な重複検査、処方薬トラブルなどの防止にも役立ち、薬局で、お薬手帳の代わりに用いることも可能。

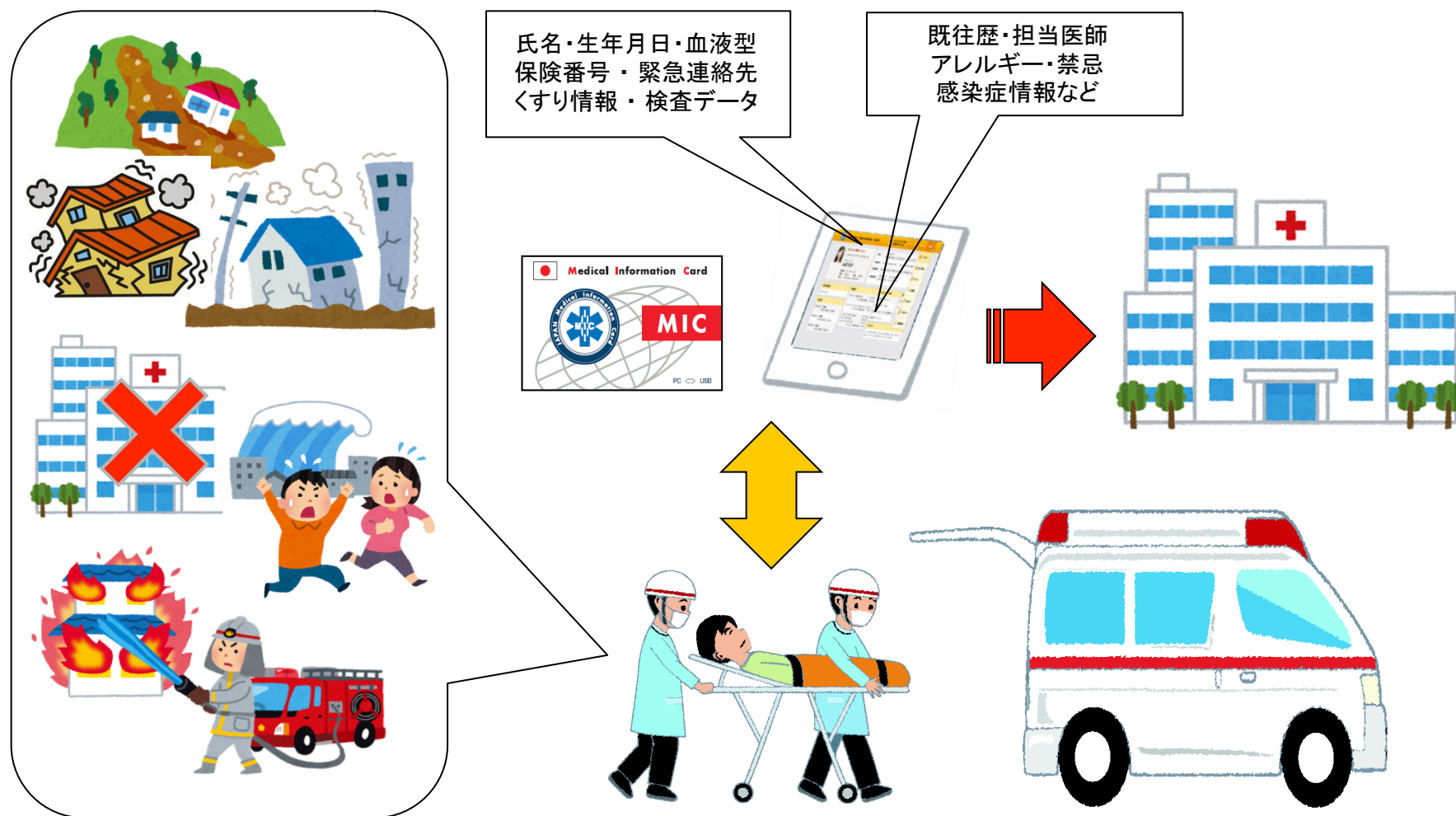
■ MICカード の活用方法（近隣のクリニックや薬局等）②

患者個人が、病院や薬局にMICカードを持参して医師や薬剤師に診療情報を提示する。

・医師や薬剤師が患者の医療情報を閲覧することができますので、不要な重複検査、処方薬トラブル等の防止に役立ちます。

■ 緊急時のMICカード 活用方法（救急搬送時）③　　患者がMICカードを、常時、携帯していた場合。

・万が一、患者が救急搬送されるような事態になった場合でも、救急隊員が、血液型、アレルギー、常備薬等の患者様の医療情報を的確に把握することができますので、いち早く適切な対応と処置を行うことができるようになります。

・患者のかかりつけの病院の電話番号や担当医を知ることができ、スピーディーに救急搬送できます。

・緊急連絡先情報により、患者のご家族等を知ることができ、スピーディーに連絡が可能となります。

■ MICカード の活用方法（大規模災害が発生した場合）④　　患者がMICカードを、常時、携帯していた場合。

・病院やネットワークが破壊されている場合や、ネットワークが遮断されている場合でも、MICカードをオフライン状態のパソコン等に接続するだけで、患者の医療情報を確認し、適切な処置を施すことができるようになります。
・処方歴や検査結果を確認できるため、他の病院で混乱なく治療を続けることができます。

■ MICカードシステムに関するお問い合わせ

MICカードに関してもっとお知りになりたい場合や、MICカードシステムの導入を検討したい場合等、
ご質問やお問い合わせは、以下で受け付けております。

＜弊社ホームページ＞
http://www.mic-card.com/

＜お電話によるお問い合わせ先＞
0120-3192-99 （平日9:00～17:00 ）

※土日祝を除きます。
※電話が混雑してつながらない場合には、しばらく経ってからお掛け直し下さい。

＜メールによるお問い合わせ先＞
info＠mic－card.com